

行ってきました

読者おすすめのこだわりカフェ

特集

自家焙煎コーヒー、ランチ、居心地、雰囲気、オーナーの人柄、そんなこだわりで読者オススメ店に登場したカフェを中心に探訪してみました。オープンして1年から5年のカフェですが、どの店も個性的で地域の人々が支えています。カフェを覗くと街と人とが見えてきますよ。



ジャズと手網焙煎珈琲の素敵空間

HOYA BUNCA

(ホウヤバンカ)



「保谷駅すぐ近くにコーヒーが美味しい本格的ジャズ喫茶がある」との読者情報を得て、出向いたのがHOYA BUNCA。ウーン、ダーウフレーションのワッティな外観からしておしゃれ。2重になったドアを開けると、心地よいジャズが流れ、ほどよい間接照明にシンフルな内装、壁も天井も漆喰、大人の雰囲気の間空間です。驚かされるのは正面の棚に並んだ、5千枚に上るジャズのアナログ盤レコード。これらが真空管アンプを通してJBLの4 Waysスピーカーから流れてくるのです。昼間はその音は抑え目ですが、夜は大音量で聴けます。ジャズファン、オーディオファンにはたまりませんね。1/3は東久留米や清瀬、所沢など市外からのお客さんというも頷けます。この春でオープン4周年。オーナーの山口元康さんが一人で切り盛りする店です。ジャズとコーヒー好きがひとつになつて生まれだこだわりの店。店を持つため山口さんは隔日休みが取れるタクシーの運転手を7年間やりながら珈琲修業。師匠の「志木BUNCA」のオーナーに手網焙煎を徹しく仕込まれました。上質なコーヒーの生豆を、上下が網で出来ているギンナン煎りを使って、手作業で焙煎するのですが、「1回20分位かけて煎り、1日に10回やっています。あとで選別するのも大変です」と山口さん。さすがに今は焙煎機も入れ、両方をミックスした興

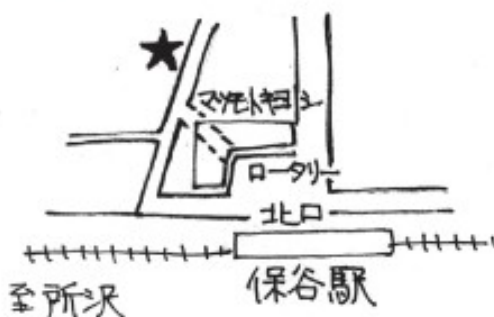
深い味のコーヒーに。ランチにポークカレーとセツトで頂きましたが、カレーもコーヒーも「手が込んでる！」美味しい味でした。



木製の椅子はイギリスの古い教会で使われていた椅子。1900年初頭から1940年にかけてつくられたそう、10人近く座れそうな長椅子2つと二人掛け椅子が10脚くらいあるでしょうか。大切に使われてきたこれらの椅子たちが、温かさやゆつたり感を醸し出しています。

「ジャズの楽しさをお客様と共有したい。殺伐とした世の中ですから優しい気持ちになつてほしいですね」友人に自慢したくなる店です。

- 営業 13時～23時(日曜定休)
- 西東京市下保谷4-15-18
- 042(423)0855



- 営業 9時～17時30分(10月～3月は16時30分まで)
- 木曜・第3水曜定休 Pあり
- 東村山市野口町3-42-18
- 042(392)4623



カウンター席でくつろぐの常連さんと紺野さん(左)



北山公園散歩の和み空間 茶かわせみ

「ホサノハガ流れるすてきな居場所の店。小さなお店ですが、安全安心の食材がいいです」と昨年の8-9月頃に掲載した、「茶かわせみ」はオーナーの紺野恵子さんが自宅カเฟ่として居場所を増築して、2年前の4月にオープン。企業に24年勤務したキャリアウーマンでしたが、お母さんの介護のため、5年前に退職。そのお母さんが亡くなり、自宅カเฟ่を開くため専門学校で喫茶コースで学び、通信教育で日本茶インストラクターの資格を取得しました。

和モダンのおしゃれな店内には一人掛けのテーブル席が3つと、クツをぬいて上がるカウンター席。メニューは日本茶がメイン。国分寺恋ヶ窪で栽培されている国分寺



手品を披露する店主



幼児も遊べる自由空間

みんなおいで！
の面白コミュニティカフェ

COFFEE & MUSIC ROLLING BEANS

オリンの女性がお茶を淹れ中？ ムムッ！
何じゃこのカเฟ่？「すみません、今ライブの練習中なんです、構いません

「ハートな感じなのに子連れでも気軽に入れるコーヒー屋さん。マスターは優しくオチャメ」と前号で小坪の読者推薦の通り、入口には「ペピーカーとどつき」と書いてあります。入ると正面は何も置いていない空間。両サイドにテーブル席。ママとよちよち歩きの子がティータム中でした。その向かい側ではギターの男性とウアイ

か？」とマスターが。初めての店なので頼み取財の当方、手作りのハーブティーキセットを頂きながら、横でフロの生音楽も楽しめるおまけ付きでした。

昨年3月にオープンしたばかり。オーナーの千田大樹さんが大手レコード販売店店長を脱サラ、「接客を通して、リピーターの多くは話をしたくて来店する。それならいっそ、地域密着型のコミュニティをつくりたいと思う」と始めた店です。だから客層は赤ちゃんからお年寄りまで。おもちやや絵本が置いてあり、幼児は遊び、ママ同士は情報交換。ママに来て、大感謝を披露するお客もいるとか。メニューは中煎りから超深煎りまでのコーヒー



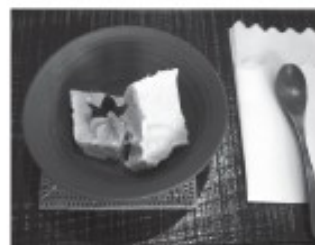
黒五フランシエ

本茶はこんなに美味しいものかと感激。黒ゴマや黒米入りの健康フランシエは程よい甘さのやさしい味。アボカドアイスも初めて味わうおいしさでした。煮物、飲み物付きの粥セット(限定10食)、もちろんコーヒー、紅茶、シューズもあります。

茶や上煎茶など6種類がお菓子付きで出されます。上煎茶ととも評判の黒五フランシエを注文。丁寧に淹れられた日

カウンターでは常連の二人の男性がくつろぎ中。近所に住む市川さんは一人暮らしで、「ここにおしゃべりに来るんですよ。オーナーは品がいいし、食べ物もおいしいから」。もう一人の飯田さんはひばりが丘から車でやってきました。北山公園を散歩して、茶かわせみに寄るのだから。お二人はここで知り合った

「かわせみフレンチ」だと楽しそうでした。散歩がてらぜひ立ち寄ってみませんか。



アボカドアイス



ソースもおいしいシフォンケーキ



たっぴりのチャイラテ

けやき通りの交流の場 cafe & gallery いちご

清瀬のけやき通りにランチも美しく、雰囲気の良いギャラリーカフェがあります」と地元読者が薦める店。郷土博物館入口バス停前、ヒルの半地下の店内は想像以上にゆつたりと開放的な空間。正面の壁面がギャラリー、テーブル席が4つ×12席。左側がカウンター席。黄色いシモザの花が明るい雰囲気を漂わせています。

2年前の4月にオープン。「子どもが自閉症だったので、障がいのある子ども一人て来られるような、地域の人たちが交流できる場所をつくりたかった」とオーナーの宮田智子さん。店名は「二期一会」の「いちご」ですが「フルーツのいちごも好きなんですよ」とのこと。

ランチの人気メニューは豆カレーとタコライス。他に本日のパスタとあんかけ焼き



読者おすすめの
こだわりカフェ



ヒー、自家製ケーキと鉄なへて焼いたパン、豆とソーセージ煮込みのごはんがけもあります。

とにかく何でもありの自由空間ですが、目玉はアコースティック系の楽しいライブ。横のお二人も現在活躍中の奥沢明雄さんと磯部舞子さんでした。音楽やアーティスト育てなどを通して、一橋学園大好きな人たちがこの店がたつき、たっぴり一年でこの街になくはならない店に成長したようです。一橋学園界隈には30代、40代の男性経営のカフェが増え、これから街が面白くなりそうです。

おにぎりというメニューなメニューも。飲み物はコーヒー、紅茶のほかはジンジャーミルクティー、チャイラテ、ゆず茶などバラエティに富み、白玉ぜんざいセットもあるのが甘党にはうれしい。チャイラテとシフォンケーキを頂いてみました。ミルクをあわ立てた、たっぴりチャイラテとハート型の皿にのったシフォンケーキ、作り手の温もりが伝わる、どこか幸せな味でした。

クルー
ブのラン

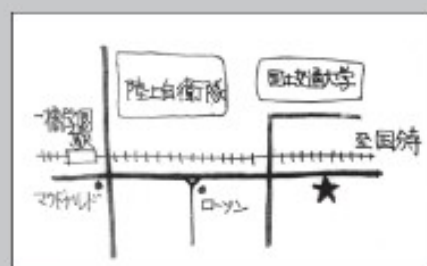


天井の照明や窓に工夫がこらされた店内



子会や地元作家展など、お客の紹介などで自然に人が集まる店。ランチタイムに友人の手伝いを頼むもの、他はオーナー一人で頑張っています。

■営業 11時～18時(日・月曜定休)
■清瀬市上瀬戸21617
■042(494)0529



■営業 11時30分～20時
(金・土曜のみ22時まで) 月曜定休
■小平市学園西町1-16-14
■090-1779-9872



特集一読者おすすめのこだわりカフェ



ギター先生の手作り個性派カフェ 珈琲職人 アルカト

「店舗の内外装が手作りの面白いカフェを買つけました」と東久留米の読者がおすすめ。西武池袋線の線路に面した三角形の小さなかわいい店。オーナーの加藤恵仁さんは昔からコーヒー好きで、公務員を定年数年前に退職して持った店です。

店内は2つのテーブルのみ。この木のテーブルもイスもトアも調度品も内外の造作もすべて加藤さんのギター先生の3年がかりで造りあげたもの。と聞いてビックリ。砂糖入れやギターにちなんだ置物に至るまで手作り、アイデアと楽しさに満ちた小さなカフェです。

販売する自家焙煎のコーヒーはフルン下5種類にストリート11種類。ハン



コーヒー職人のマスター

ドヒックを繰り返しながら欠点豆を取り除き、焙煎工程管理に細心の注意を払います。火加減に神経を集中し、電話にも出ず、トイレにも行かない。こつこつと雑味のない、すっきりとした「コーヒーが出来上がるのです。店で飲むコーヒーは客の好みに合わせてフレントしてくれます。特製カシモも人気です。器は織部焼。瀬戸市で焼いた弟さんの作品です。川があり、都市化と田舎のバランスがいい東久留米を愛してやまない。

「街をよくしたいと思うている人が多いので、異業種の人たちの情報交換の場になればいいですね」



- 営業 11時～21時(土・日・月曜は19時まで)火曜と祝日の月曜は定休
- 東久留米市本町1-6-24
- 042(444)0487



心地よく、ゆったりとすごせる場所 茶房 萌木

「夕暮れ時に飲むコーヒーは味も香りも雰囲気もGOOD」と30代男性のおすすめ店として、一昨年12月1日号に載せた店。鈴木街道沿いのケヤキの大樹が目印。この6月でオープン5周年を迎えます。

昭和年代を彷彿とさせる外観、入口でスリッパに履き替えると、右側がギヤラリースペース、左側が茶房。天井のむきだしの大い梁は武蔵村山の農家にあったもの。漆喰の壁と煙突ストロフがマッチして、ノスタルジックな雰囲気を感じさせています。

「つづけて、ゆつくり話ができるような店をつくりたいと思って、そうい

う店が少なくなっていきますから」とオーナーの三宅明代さんが話すように、ここはなぜか落ち着くくつろぎ空間。毎日日課のように訪れる常連さんも多い。散歩中の熟年夫婦、男性、女性の一人客も。オーナーの温かいもてなしの心が人を呼ぶのでしよう。

萌木フレントコーヒーは酸味と苦味の2種類、自家製シフォンケーキ、ラの花まんじゅうや白玉せんざいなどのテイストも美味しい。体にやさしい薬膳粥セットも人気で、すべてリーズナブルな値段。

落語会やハーブなどのコンサート、ギャラリーでは月2回、男の編物教室も開かれ、バラエティ豊かな楽しみを創出するカフェ。沖縄ガラスに内蔵の真空管アンプから流れる、澄んだ音色のBGMも癒してくれますよ。

- 営業 10時～18時
- (月・火・日曜定休) Pあり
- 小平市花小金井南町2-3-18
- 042(465)8588

